令和4年度　港区立中之町幼稚園経営計画

港区立中之町幼稚園長　大橋 美都子

1. はじめに

港区立中之町幼稚園は、明治23年5月に開園し、今年度132周年を迎える。地域に愛され、見守られながら長い歴史と伝統を育んできた園である。

平成26年9月から現仮園舎での生活が続いているが、今年度の夏、赤坂地区小中一貫教育校の敷地内に完成する新園舎に移転し、2学期から新しい環境での教育活動が始まる。

3学年2学級ずつ、計96名の幼児で今年度の教育活動がスタートした。コロナ禍の中でできる最大限の教育活動を工夫して実施している。

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難な時代となっている。このような時代を生き抜き、未来を切り拓いていく幼児を育てるために、幼稚園教育要領では幼稚園教育で育みたい資質・能力について「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」と3つの柱に明確化された。幼児期の教育の基本である「環境を通して行う教育」を日々実践していく。また、港区教育ビジョンを具現化するため策定された「港区学校教育推進計画」に示されているめざすべき子どもの姿「夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子ども」を育成するために、〇幼児が安全で安心して過ごすことができる幼稚園づくり　〇幼児がいきいきと楽しく学ぶことができる幼稚園づくり　〇保護者や地域に信頼される幼稚園づくり　を目指していく。

2. めざす幼稚園

教育目標

げんきな子　　かんがえる子　　なかよくする子　　がんばる子

目指す幼稚園像

幼児がたくましく、のびやかに、いきいきと育つ幼稚園

〇幼児がいきいきと主体的に遊びや生活を作り上げていく幼稚園
〇異年齢・地域・アカデミー（赤坂小・赤坂中）とのかかわりを通して育ち合うことができる幼稚園
〇132年の伝統を大切にしながら、変化に対応し、より良い保育を目指す幼稚園
〇保護者と幼児教育の大切さを共有し、共に子育ての喜びを感じられる幼稚園
〇地域や園内の魅力を活かした遊びと生活を展開する幼稚園
〇共に学び高め合い、連携のとれたチーム保育を行う教師集団のいる幼稚園

目指す幼児像

3歳児…基本的な身の回りのことが自分でできる喜びを感じられる幼児・安心感をもってのびのびと自分の思いを表し、遊ぶことを楽しめる幼児

4歳児…自分のしたい遊びを見付けて繰り返し取り組み、楽しさや満足感を味わえる幼児・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の思いを受け止めたりしながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえる幼児

5歳児…目的をもって粘り強く遊びに取り組み、思いや考えを実現する満足感を味わう幼児・友達と互いの良さを認め合いながら、共同して遊びや活動を進める楽しさややり遂げる達成感を味わえる幼児

3. 中期的目標（令和4年度～6年度）

○育みたい資質・能力の3つの柱に沿った幼・小中一貫した教育の推進

幼児の未来を見据え、幼児期にどのような体験が必要なのか改めて考えるとともに、幼稚園で育まれた資質・能力を小学校へ引き継いでいけるよう育ちを共有できるように連携を密にする。

○新園舎での教育活動の充実

地域と連携した教育内容のさらなる充実を図る。また、新園舎での生活がスムーズに始められるよう新しい環境、場の使い方を工夫し、今後の教育活動の基礎を築く。

○保護者・地域と協働し、愛され信頼される幼稚園づくり

132年の歴史の下、地域には卒園生や古くからの協力者が多数居住されている。4年目となる学校運営協議会制度を生かし、地域コーディネーターを中心に地域の教育力や人材を存分に生かし、保護者・地域と協働体制をつくる。

○専門性の向上を目指し、教育に情熱と使命感をもった教職員集団の育成

ミドルリーダーへと育つべく若手教員が多い。幼稚園初のマイスター教員を中心に、一人ひとりの教員が自らの目標を明確にもち、専門性の向上を目指して前向きに職務を遂行し、互いに資質を高め合える教職員集団を育てていく。

4. 今年度の取組目標と方策

○体を動かすことを楽しむ幼児の育成

日々の遊びや生活において、運動的な遊びが楽しめるようにする。特に今年度は、新園舎へ移転後、園庭が限られた狭いスペースとなる。また、中学校のグランドを部分的に借用するため幼児が自由に行き来できない状況となる。そのような中でもいかに体を動かすことを楽しめる環境や教材、活動を工夫できるか、園内研究を通して追究していく。

○赤坂アカデミーの連携の強化

赤坂アカデミーの連携を大切にし、保護者にも連携の様子を発信し、地域で教育を受ける意義を感じ取れるようにする。また、学校教育全体を貫いて明確化されている育成すべき資質・能力を理解し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校教員と共有し、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図る。また、学校運営協議会制度を生かし、円滑な園運営ができるようにする。

○地域の施設や教育力を生かす

幼児、保護者が地域の方への感謝の気持ちをもち、地域への愛着を感じられるように地域コーディネーターとの連携を深め、地域の人材を活用した活動を大切にしていく。また、隣接する檜町公園や東京ミッドタウン内広場、赤坂中学校などの施設を有効利用し、幼児にとって豊かな体験ができるようにする。また、様々な運動体験ができるようタグラグビーや体操などの活動を増やし、運動体験を増やしていく。

○子育ての楽しさ、喜びを感じられる保護者へ

保育参観や保護者会、懇談会などを利用し保護者に園の教育内容を伝え、幼児の成長を知らせるとともに、保護者が子育ての楽しさや喜びを感じられるようにしていく。園便り、学級便り、ホームページ、ツイッターなどを活用して、家庭では見えにくい幼児の生活の様子を丁寧に伝えていくようにし、遊びの重要性や遊びから学んでいること、幼児期に必要なことなどを理解してもらえるよう発信に努める。

○3年間の見通しをもった指導内容の充実した幼稚園に

3年間の成長を見通し、各年齢で必要な経験内容を確立し、既存の指導計画を新園舎バージョンに修正していく。環境の使い方、行事の在り方や実施方法の改善等、全職員によるカリキュラム・マネジメントを行い、次年度の教育課程に生かす。

○チームとしての教職員集団つくり

園長自身、教職員と日常的にコミュニケーションを十分にとり、相談や話がしやすい雰囲気をつくる。教職員同士が互いの良さを認め合い、フォローし合い協働できるチームにしていく。また、業務軽減できることを工夫し、働き方改革につながり効率よく働き、心身ともに健康で、明るく前向きに職務を遂行できるようにする。

○感染症対策

港区のガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染拡大に努める。様々な教育活動において、3密の回避、換気、ソーシャルディスタンスの確保をするとともに幼児に手洗いの励行、マスク着用、咳エチケット励行を指導する。

令和4年度　港区立中之町幼稚園 経営計画概要

園 長　大橋 美都子

関係法規等
○日本国憲法　○教育基本法
○学校教育法　○幼稚園教育要領
○東京都教育ビジョン○港区教育ビジョン
○港区学校教育推進計画

幼児期から高校教育までに育成すべき資質・能力
「知識・技能の基礎」…遊びや生活の中で豊かな体験を通じて、何を感じたり何に気づいたり、何がわかったり、何ができるようになるのか
「思考力・判断力・表現力等の基礎」…遊びや生活の中で、気づいたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり試したり工夫したり表現したりするか
「学びに向かう力・人間性等」…心情・意欲・態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか

園の教育目標
○げんきな子
○かんがえる子
○なかよくする子

幼児・園の実情等
○人懐こく、人との関係を築きやすい。
○様々なことに興味関心があり、やってみようとする。一方で、失敗を恐れたり、途中であきらめてしまったりする幼児が多い。
○生活経験の差が大きい。
○生活にゆとりのある家庭が多く、丁寧なかかわりをしている保護者が多い。そのためか依存心が強く、甘えてしまっている幼児がいる。
○132 年の歴史があり、地域の協力が大きい。

目指す幼稚園像
○幼児がいきいきと主体的に遊びや生活を作り上げていく幼稚園
○異年齢・地域・アカデミー（赤坂小・赤坂中）との関わりを通して育ち合うことができる幼稚園
○132 年の伝統を大切にしながら、変化に対応し、より良い保育を目指す幼稚園
○保護者と幼児教育の大切さを共有し、共に子育ての喜びを感じられる幼稚園
○地域や園内の魅力を生かした遊びと生活を展開する幼稚園
○共に学び高め合い、連携のとれたティーム保育を行う教師集団のいる幼稚園

目指す幼児像
3歳児…基本的な身の回りのことが自分でできる喜びを感じられる幼児・安心感をもってのびのびと自分の思いを表し、遊ぶことを楽しめる幼児
4歳児…自分のしたい遊びを見付けて繰り返し取り組み、楽しさや満足感を味わえる幼児・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の思いを受け止めたりしながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえる幼児
5歳児…目的をもって粘り強く遊びに取り組み、思いや考えを実現する満足感を味わう幼児・友達と互いの良さを認め合いながら、共同して遊びや活動を進める楽しさややり遂げる達成感を味わえる幼児

基本経営方針
○温かい雰囲気の中で、一人一人の幼児にきめ細かく丁寧な指導を行う
○直接的・具体的な多様な体験をさせ、遊びを通して学べる環境をつくる
○幼児・保護者・教職員が自己発揮できるようにする
○アカデミーの連携を強化する
○地域と共にある開かれた幼稚園

今年度の取り組み重点目標

体を動かして遊ぶことが大好きな幼児へ	幼児教育の質の向上	地域に愛される幼稚園	赤坂アカデミーの連携
・新園舎での遊びを通した学びの充実 ・3年間の成長を見通し、各学年での必要な経験内容の確立 ・感染症対策を講じた上での行事の精選、実施方法の改善	・幼児期に育みたい3つの資質・能力の理解 ・新園舎での教育活動の基盤作り（環境構成、教材研究、援助方法等の工夫） ・働き方改革を意識したゆとりある業務の推進	・PTA、地域との協力（地域コーディネーターを中心とした人材活用） ・ホームページ、ツイッター等を活用した園教育の発信	・12 年間の子どもの育ちを見通した教育 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい」をもとに子どもの姿を小学校教師と共有 ・保幼小中の交流

教員の資質向上
○教育公務員として服務研修
○職層に応じた研修
○園内研究の充実
○OJT の活用
○カリキュラム・マネジメント

家庭・地域・関係機関との連携
○赤坂小・赤坂中との連携
○情報発信
○学校運営協議会